

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公開番号】特開2011-7996(P2011-7996A)

【公開日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-150890(P2009-150890)

【国際特許分類】

G 02 B 7/34 (2006.01)

G 03 B 13/36 (2006.01)

H 04 N 5/335 (2011.01)

【F I】

G 02 B 7/11 C

G 03 B 3/00 A

H 04 N 5/335 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月20日(2012.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体からの光を結像する結像光学系と、

前記結像光学系の投影領域に配列した複数のラインセンサと、

前記複数のラインセンサの側にそれぞれ配置され、それぞれ対応するラインセンサの受光量をモニタリングする複数のモニタセンサと、

前記複数のラインセンサに蓄積された電荷に基づいて被写体像の画像信号を出力する出力手段とを備え、

配列最外部となる両端のラインセンサに応じたモニタセンサそれが、投影領域内に収まるように、対応するラインセンサの投影領域中心部側に配置されることを特徴とする焦点検出装置。

【請求項2】

前記複数のモニタセンサが、それぞれ対応するラインセンサの投影領域中心部側に配置されることを特徴とする請求項1に記載の焦点検出装置。

【請求項3】

前記配列最外部のラインセンサに応じたモニタセンサのサイズが、投影領域内に収るように、投影領域中心部付近にあるモニタセンサよりも小さいことを特徴とする請求項1乃至2のいずれかに記載の焦点検出装置。

【請求項4】

前記複数のモニタセンサのサイズが、投影領域中心部から離れるほど小さくなることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の焦点検出装置。

【請求項5】

前記複数のモニタセンサが、ラインセンサ間ににおいてラインセンサ配列方向に隣り合うことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の焦点検出装置。

【請求項6】

前記複数のラインセンサが、それぞれ複数のラインセンサを並列させた複数のラインセ

ンサ群を有し、

前記結像光学系が、各ラインセンサ群に対して被写体像を投影することを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の焦点検出装置。

【請求項7】

請求項1に記載された焦点検出装置を備えた撮影装置。

【請求項8】

被写体からの光を結像する結像光学系と、

前記結像光学系の投影領域に配列した複数のラインセンサと、

前記複数のラインセンサの側にそれぞれ配置され、それぞれ対応するラインセンサの受光量をモニタリングする複数のモニタセンサと、

前記複数のラインセンサに蓄積された電荷に基づいて被写体像の画像信号を出力する出力手段とを備え、

少なくとも配列最外部のラインセンサに応じたモニタセンサのサイズが、投影領域内に収まるように、投影領域中心部付近にあるモニタセンサのサイズよりも小さいことを特徴とする焦点検出装置。